

建設工業新聞

局道 東埼玉道 橋梁の設計、施工、維持管理
 整備 首都圏
 東 北

CIM導入を検討

関東地方整備局北首都圏道事務所は、東埼玉道路（埼玉県吉川市と春日部市）の橋梁の設計、施工、維持管理にCIM（コンストラクション・インフォメーション・モデリング）を導入する。9月中旬に3次元（3D）の詳細設計モデルの策定作業に着手。同時に施工や維持管理の各段階で実用する3Dモデルの有効活用するための検討に入る。

関東整備局が設計段階で3Dモデルの活用を前提にした維持管理の検討を行うのは今回が初めてのケース。成果は本年度末までにまとめる。

CIMは、道路など土木構造物の設計を3Dで行い、作成したモデルを施工や維持管理にも活用する技術。従来の紙媒体などを使った2次元の設計図より、視覚で構造物の特徴などを簡単に認識できる利点があるといわれている。

国土交通省は、3Dモデル上で公共事業の調査・設計から工事、維持管理までを一元的に把握する仕組みの確立を目指すし、全国の地方整備局でCIMの試行を積極的に展開している。関東整備局もこれまで施工への活用を見据えた試行は実施してきた。

本年度の試行では、施工だけでなく、将来の維持管理に活用する上で必要となる検討も3Dモデル上で同時に行う。国道4号の一部となる東埼玉道路のうち大落古利根川側道橋上り線（越谷市増森と松伏町下赤岩、橋長132.7m）の詳細設計を作成しながら検討を進める。下り線は従来通りの手法で設計し、3Dモデル上で検討した結果と比較する。

【建設ICT】

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1. 日経 | 2. 朝日 | 3. 毎日 |
| 4. 読売 | 5. 朝日 | 6. 中日 |
| 7. 産経 | 8. 朝日 | 9. 伊勢 |
| 10. 中部経済 | 11. 建通 | 12. 日刊工業 |
| 13. 建設通信 | 14. 信濃毎日 | 15. 日本海 |
| ⑬建設工業 | | |